

## 沖縄県内における奄美クドア症の疫学的調査

杉山昭博・横山 博・小川和夫、魚病研究、34(1)、39-43 (1999)

奄美クドア症の地理的分布を1994年から1997年にかけて沖縄島から石垣島にかけての14ヶ所において、ブリとカンパチを用いた飼育試験により調べた。本部海域におけるクドア寄生率はブリで70～100%、カンパチでは30～90%で他の海域（0～9%）に比

べて明らかに高かった。奄美クドアの魚体内分布は体側筋肉内でほぼ均一であった。カンパチはブリに比べて感受性が低く、寄生強度（筋肉1g当りのシスト数）としてはブリに比べて1桁程度低いことが明らかになった。